

問

「医療の高度化」で、以前なら命を落とすような病気も、先進医療が発達し、特別な薬を使うという事例が増えつつある。

病気になる人は減っているのかもしれないが、一人当たりの医療費は高くなっている。

健康診断で早期発見、早期治療に努めてもらうよう、子育て・健康課だけに頼るのではなく、各課が連携してアナウンスしていくという取組は考えていないか。

答 健診の広報などは、保険課でも行っている。徐々に健診率も増えており、少しずつ功を奏している。

年に1回自分の身体を知るために、健診を受けましょう。



意見

「健診を受けましょう」だけではなく、「受けたからこれくらいで済みました」という実績を、数字で見せてもらうと分かりやすい。

人口の推移や保険の収入もわかっている。この段階でこうなり、将来的には何%まで持っていく。その途中で今年度から何%にするということを、町民の方に理解していただきた上で値上げをしていかないと説明ができない。

長期的なプランをしっかり持ち、私たちにも資料を提示し、その上で引き上げるべきである。

菅我部

短期的な要因に左右されて保険税率の見直しを行うのではなく、中長期的な計画を策定しビジョンを持ったうえで、必要に応じた見直しを。

田中

追加議案

松前小学校放課後児童クラブ新築建築主体工事請負契約の締結

問 追加議案はないと言

っておきながら急に出してきた。議会提出の経緯は。

菅我部

答 6月議会に上程する

予定であったが、低入札調査案件となったため上程することができなかった。併せて議長に低入札調査状況の報告、申し入れができていなかった。

問 4月からの制度の見直しにより、判定基準

となる率を引き上げた理由は。

加藤

答 国の方針が平成31年3月から変更になったことに基つき、ダンピング防止のため判定基準を見直した。

問 低入札価格調査制度

の判定基準の見直しに伴い引き上げた率の根拠は。

田中

答 愛媛県中央公共工事計画整備運用連絡協議会が使用している率である。

意見

議会は何を出しても、可決してくれる。と思われるのなら、議会軽視である。手順を踏み、臨時会や9月議会ですっきり出すべきである。

菅我部

低入札価格調査制度を設けたのは、今まで1万円下がった者を否決し、100万円高い者を落札者にするのもつたいないということ、低入札価格調査制度を作ったはずである。

今回は金額で説明し、今回、委員長が質疑したときには、%で答弁している。もう少し考えて発言をしていただきたい。

伊賀上

最低制限価格制度及び低価格入札調査制度の適切な実施に向けて

意見 (最終日の委員会)

他市町の入札では、業者は、調査基準価格を下回らないように積算している。

本町の制度では、調査基準価格を下回っても、町設計による判定基準を上回っている場合は、低入札価格調査制度を適用して、業者ヒアリング等を行い、適正施工ができるかの確認をすることにより判定している。

今後、調査基準価格だけで判定するようガイドラインを作成してはどうか。

村井

町内業者育成のためにも、制度の見直しを行い、判定基準となる率をさらに上げることに、できるだけ低入札審査案件に該当しないようにしては。

菅我部

町長から説明のあった調査基準価格から1万円低い場合

に救済するのは理解できる。しかし今回は調査基準価格に対して3万円高い業者を除外して、調査基準価格から500万円低い業者の低入札審査を行い、仮契約を行っている。

調査基準価格にほぼ一致している3万円高い業者を除外することは、理不尽であると感じる。ルールの見直しを。

菅我部

5千万円以上と未滿で異なる制度を採用しているが、予定価格を事前公表したら、解決するのでは。

西村

適正な競争原理のもと、透明性を確保しつつ、より公平で公正な入札制度を整備する必要があります。

品質安全性など適正な施工体制が確保されているのか。低入札価格調査制度を導入して以降の実績を精査したうえで、制度の見直しの検討を。

田中